

# 10分間の奇跡「S L 大集合」再び

3 / 9 · 3 / 10

春の大鉄まつりが開催され多くのファンで賑わいました

大井川鐵道(株)は大正14年3月10日の会社設立を記念するイベントを開催しました。

特に目玉企画として行われた本物のS Lや井川線ディーゼル機関車を運転できる運転教室が好評で、普段は決して運転することができない貴重な体験とあって、家族連れや熱狂的なファンは興奮を隠せない様子で楽しんでいました。

S Lフェスタでも人気がある、3両のS Lが並ぶ10分間の奇跡「S L 大集合」には、貴重な光景をカメラに収めようと黒山の人だかり。さゆり幼稚園児が披露したダンスも評判でした。



圧巻は3両のS Lが一斉に汽笛を鳴らすシーン

2 / 26

## やさしい心が一番大切だよ

本町社会を明るくする運動啓発事業・小森美登里さん講演



いじめ問題を真剣に考えるように問い掛けました

いじめ問題に取り組むNPO法人、ジェントルハートプロジェクト理事の小森美登里さんの講演「やさしい心が一番大切だよ」が中川根中学校で開催され、生徒と民生委員・児童委員など計150人が聴講しました。

小森さんは一人娘をいじめによる自殺で失った経験から、いじめ被害者やその家族の苦しみを説き「人はみんな幸せに生きる権利があり、この権利を誰からも奪われてはならない。生まれつき持つ自由の翼を大事にして、幸せな人生を生き抜いて欲しい」とメッセージを送りました。

## 聞こえないって、どんなこと？

3 / 7

3月3日(耳の日)から3月9日までの1週間は「愛の援聴週間」

中川根南部小学校4・5・6年生の児童27人を対象に、聴覚障害に理解を深めるための交流会を県が企画しました。

講師として訪れた駿南ろうあ協会の嵐口茂夫さんと嵐口多美恵さんは、生活を通しての苦労や体験を児童らに説明し、手話を知らなくてもジェスチャーや表情を豊かにすることでコミュニケーションがとれることを伝えました。

児童らは、身近に聞こえない人がいることを理解し「通じる喜びを知った」「手話をもっと勉強したい」などと感想を話していました。



ジェスチャーや表情が大事だと学びました

## バーチャルホスピタルの構築を目指す

3 / 9

構想が何を指し、どのようなものなのかを具体的に説明

本町主催のいやしの里講演会「川根本町におけるバーチャルホスピタルの構築と地域医療」が文化会館で行われ約230人が参加しました。

講師の県立総合病院医療連携管理監であり本町いやしの里診療所の清水史郎所長は「インターネットによる医療情報システムを利用することで、医療従事者環境が改善され、医師不在の状況をつくらないための医療提供体制の確保につながる。高度な専門医の診療を本町にいながらにして受けることが可能な仮想総合病院を建設できる」と説明しました。



バーチャルホスピタル構想を説明をする清水史郎所長

2 / 24

## 大きな拍手に包まれた「さゆり合唱団」



来年、結成10周年を迎える「さゆり合唱団」

「百億の瞳」を心一つに、3世代60人で合同コーラス

今年で24回目となる広域ふれあい合唱祭が島田市のプラザおおるりで行われ、2市2町(島田市、牧之原市、吉田町、川根本町)の合唱団15団体約400人が参加しました。

本町からも「さゆり合唱団」「コーラスリベルテ」「コーラスコスモス」の3団体が参加、楽しむのびのびと合唱を披露しました。

特に幼少の子どもたちの参加は珍しく、さゆり合唱団の3世代60人で披露した合同コーラス「百億の瞳」には、ひときわ大きな拍手が贈られていました。

## 情報処理検定8種目で1級以上取得

3 / 5

コンピューターグラフィックスと読書が趣味・4月から山梨県の公立大学へ進学

県立川根高校を3月1日に卒業した久保奈都美さん(藤川)が、在学中に日本情報処理検定協会主催の下記検定8種目すべてにおいて1級以上を取得しました。小規模普通科高校での快挙に久保さんは「充実した大学生活を送り、将来は資格を生かした仕事をしたい」と喜びました。

### 【日本情報処理検定協会主催の8種目】

日本語ワープロ検定、情報処理検定(計算表)、同(データベース)、文書デザイン検定、ホームページ作成検定、プレゼンテーション作成検定、パソコンスピード検定(日本語)、同(英文)



努力が実った達成感と顧問や先輩への感謝を語った久保さん